

NPO 法人 純正律音楽研究会会報 ～2024 年 8 月発行～

ひびきジャーナル



〒169-0073 東京都新宿区百人町 4-4-16-1218 Tel:03-5389-8449
Fax:03-5389-8449 e-mail:puremusic0804@yahoo.co.jp

発行日 2024 年 8 月 20 日
発行責任者 NPO 法人 純正律音楽研究会
編集 相坂政夫

No.80



残暑がいつそう身にこたえる日々ですが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、玉木宏樹が天国に行ってから 12 年が過ぎました。玉木は生前からツイッターを立ち上げ、投稿をしていましたが、このことがこの度「故人サイト」亡くなった人が遺して行ったホームページたち定価 880 円、吉田雄介著(鉄人社)から出版されました。この本の最後に玉木宏樹の記事が掲載されております。現在も玉木宏樹のツイッターは継続して記事を載せています。興味のある方は是非ご覧いただければ幸いです。(https://x.com/home)

今回の純正律音楽コンサートは 12 月 24 日(火曜日)午後 2 時開演、代々木上原の、古賀政男音楽博物館「けやきホール」にて開催いたします。ご来場いただければ幸いです。

玉木宏樹の意思を継いで「純正律音楽」の普及に邁進していきたいと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

体に良い周波数とは

洗足学園音楽大学客員教授・ヴァイオリニスト
NPO 法人 純正律音楽研究会 代表
水野佐知香

立秋を過ぎましたが、とても暑い夏で、最近では 30 度になると涼しいと感じられるこの頃です。皆様お元気でいらっしゃいますか？

台風が、いくつも発生し、また、地震が来るから気をつけてと注意報が出ていました。昔は、新幹線が止まったり、計画運休などはなかったように思います。気をつけてお過ごしください。

最近 fb を見ていると、周波数で身体を整える整体師さんの話がありました。全てのものには波動があり、この世の中は周波数、振動でできているそうです。物体も肉体も！それぞれ一つ一つ周波数が違い、この周波数を整えることで具合の良くないところが良くなってくる。身体が改善される。でも、一つ一つ周波数を整えることはとても大変なことなので、一番良い方法として音楽が 1 番良い！と彼は言っています。

音楽は多種多様な周波数が入り構成されているので、それぞれ固有の周波数を一変に調整することができる。音楽を聴くと耳からだけでなく、全身に振動して入るわけで、どんどん身体が良くなる。ただ A {ラ} の音が 444Hz、436Hz が良いそうです。

一般的に現在は。ピアノのチューニングは 442Hz であることが多いですが、ウィーンフィルのピッチは 444Hz と聞いています。ピアノが入らないアンサンブルは 444Hz も 436Hz も可能なので、ぜひ今度はどちらかにこだわってみようと思います。私が練習する時も 444 か 436 に統一することで、もっと元気になるのかな？まさに純正律ですよ！玉木さんがお元気だったら、「当たり前！いつも言っているだろう！？」と言われそうです（笑）ビートルズが 444Hz で演奏されていたそうです。（聴きましたら本当に！ピアノのピッチも高い）どんどん良いことは真似しようかと♡

先日、札幌のマネジメントの方とお話をしていましたら、最近では、コンサートの形も変わり、もちろん往年のクラシックのオーケストラ、オペラなどは高いお金を払っていくお客様もたくさんいらっしゃいますが、YouTube などで活躍している推しのピアニストを追っかけ、そのピアニストに教を乞い、照明やお祝いのお花スタンドなどの呼び名や形が変わり、演奏スタイルも変わったコンサートに来るお客様が多い！とのことでした。

今までの考え方ではお客様はなかなか集まらないし！とお話されていました。弦楽器でもいろいろな合奏スタイルがありますが、「石田組」の売れていることにはびっくりです。武道館でのコンサートが近々あるそうです。組長の石田さん昔から上手でしたが、男性ばかりのメンバーで組みさっそうと弾かれてる姿と演奏に魅了される方が多いようです。たくさんのジャンルの曲目を演奏されてますし、私も刺激を受けています。石田組のようにはいきませんが、純正律音楽研究会〔佐知香組〕で日本の皆さんが元気になれるように癒しのハーモニーを奏でて幸せになれるように♡

ムッシュ黒木の純正律講座 第 79 時限目

平均律普及の思想的背景について(68)

純正律音楽研究会理事 黒木朋興

前回、美しいかどうかを決定することに関して、主観と客観の話をした。エンターテインメントの世界では人気のあるなしが評価の対象となる。つまり判断するのは聴き手それぞれの主観であるが、そのような主観的判断の数によって客観的な評価が決まるというわけだ。対して、芸術はより客観的な判断が求められるとされる。かつては神、あるいは神に仕える教会がその判定を下していた。「神の死」以降の時代は専門家集団に評価は委ねられることになる。専門家に神に代わる権威が与えられているというわけだ。しかし、そのような専門家と言えども神ではなく人間であり、その判断は結局のところ個人の主観である。人間社会から専門家として若干の権威を与えられているだけ、つまりは所詮人間の判断なのであって、間違ふこともある。神の真理といったものが、決して人間には完全に把握することができず、永遠に手の届かないものだとしても、神の存在を前提とする時代と前提としない時代では美の判断に大きく違いが出てきてしまうことは自明だろう。

前回述べたように、近代社会の個人の主観に基づく美への評価はデカルトのコギトに由来する。コギト（＝我思う）とは一人称単数の思考であり、デカルトは自然科学や近代哲学の基礎にこのコギトを据えたのである。そしてこのコギトを基に近代美学を立ち上げたのがカントやヘーゲルなどに代表されるドイツ観念論であった。ドイツ観念論とは、主観による判断に客観性を与えようと思ひ論理展開をしていった哲学と言えようか？

絶対音楽の唱導者であり『音楽美論』という論考で有名なハンスリックは、ドイツ観念論に抗して客観的な美の判断を追求しようとした。彼にとって、芸術作品の美とは人によって判断が異なるものであってならず、何かしら絶対で客観的な基準がなければならないものであった。「感情は音楽の内容ではない」という有名なテーゼは、美の判断が主観的な感情などに左右されてはならないという主張に基づいていたのである。また、ハンスリックは音響物理学で名高い科学者ヘルムホルツと友好関係を持っていたことから分かるように、科学的な判断に重きを置いていた。自然科学で証明された事柄のように、ある音楽が美しいか否かも客観的に証明されるべきだと考えたのである。もちろん、19世紀よりも科学の発展した現在でさえも美を科学的に証明することなど不可能であることから分かるように、ハンスリックの美の基準の探究には限界がある。

このように客観性を追求したハンスリックは、同時に、論敵のワーグナーが自らの芸術活動を通して革命を追求したのとは反対に、音楽に政治を持ち込むことにも難色を示した。1848年のウィーンでの革命を目の当たりにしたハンスリックは政治に対して反動的な態度を示すようになったのである。このことから、絶対音楽の理念は科学的な美の追求という哲学的側面を持つと同

時に、現在の「ロックに政治を持ちこむな」というエンターテインメントの熱心なファンたちに支持されるような方向性の起源ともなったと言える。

クラシック埋蔵金・発掘指南書(その2)

純正律音楽研究会 初代代表
玉木宏樹遺作

2.日本人のクラシックの聴き方の異常さ

*何が異常なのか

音楽は楽しく聞きたいもので、決してひれ伏すものではありません。しかしそう思っていない人も多く、音楽は哲学するものと思ひこみ、暗く瞑想するのが正しい聴き方だと思っている人が多いと思います。そういう暗い世界からクラシックを救い出すため、埋もれた名曲の数々を発掘しましょう。精神修養のためじゃ音楽がかわいそうです。

かくいう私も子供の時から学生時代までのクラシック音楽の聴き方は、一生懸命「意味」や「思想」を求め、自分の肌合いにあわない曲とか、理解できない曲にあうと、自分の理解力が足りないと自分を責めたりもしました。そして東京交響楽団に入りましたが、年がら年中のベートーヴェン攻めにあい、自分の生理感とはどうしても合わず、クラシック界を飛び出して、当時、商業音楽の鬼だった山本直純氏の工房に入り、助手を務めながら、いろんなことを学びました。

とにかく想像を絶する忙しさで、次々に殺到してくる仕事の前では、余計なことを考えている暇はありません。いやが応にも次々と曲をひねり出さねばならないのです。やがて独立し、映画やテレビドラマ、CM 音楽等をやるため、資料(いま流行っている傾向を知るため)として山ほどいろんなジャンルの曲を聴かなくてはならず、その内、耳はきたえられ、いいか悪いかは早く判断できるようになりました。そして自分の作曲する立場になってみると、何だか意味ありげに退屈なのは、別に意味のないことが多く、作曲家の時間つなぎや引き伸ばしであることが往々にしてあるんだ、ということが分かってきます。だから理解できないと悩むことはなく、そういうところは作曲家が悩んでいるんだな、と思えばいいのです。

私は日活映画の音楽を何本かやりました。もちろん音楽も効果音もないフィルムを見終わって監督とどこに音楽を入れるかという打ち合わせをします。経験不足の監督ほど、音楽を沢山要求します。全部 OK したらすごい数になって音楽の効果も薄れるのでこちら必死に抵抗して 1 曲でも少なくしようと努力します。しかし中には、なぜこんな所に音楽が必要なのか、全く理解に苦しむ所に、監督が必死になって音楽が欲しいと言います。こちらはどんな曲を書いたらいいのか全く思いつかないけど妥協します。しかし、わけがわからないから他の曲ばかり書き、そのシーンは取り残されます。困りはてて直純さんに事情説明してどんな音楽にすればいいのか訊いてみました。するとさすが、直純さんの答えは面白かった。「そんなもの、監督はそのシーンがうまく行かなくて

自信がないから助けてくれ、と言ってるんだ。そんな所の音楽は何でもいいんだよ」まさにその通りでした。映画の現場言葉では音楽を入れることを「汚す」というのです。監督からはよく言われたものです。「うんと汚してね、玉ちゃん」。

交響曲の1楽章は大体ソナタ形式という形で作曲されます。それは第一主題、そしてそれに対立する第二主題が展開部という所で、反発したり融合したりしながら大展開し、もりあがって、また第一主題、第二主題という再現部で終わるのですが、本来、まん中の展開部というのが手に汗にぎる緊張でハラハラ、ドキドキするものであるはずだし、作曲家もそうすべきなのに往々にしてその展開部が全く面白くない曲が多い。それは、モチベーションがないのに展開部を書いているからです。モチベーションがなくても展開部が書けるように作曲の勉強は対位法とかフーガばかり教えます。こんな曲を聴かされる方はいい迷惑です。それなのに、この作曲家の思想と苦悩を理解せねばなんて、決して思わない方がいいです。

作曲家は決して思想や哲学を音楽に持ちこみません。いや持ちこめないのです。ディーリアスがニーチェの思想から「人生のミサ」を作曲したといっても、作曲するに当たってニーチェは単なるトリガー(引き金)にすぎないのです。

シャイな作曲家は、自分の作品のことを言葉で説明しようとする人がけっこういます。私は武満徹氏の音楽は好きな方なのですが、音楽より雄弁な氏の説明文は果たしてどうかな、と疑問符がつきます。それなりに文学的なので悪くないでしょうが、何かケムに巻いて商品価値を高めようとしているのかと邪推したくもなります。～おっと武満ファンから鉄拳の嵐を見舞われそうですね。申し訳ありません。

*なぜ年末に第九なのか

これは日本だけの現象だと思います。欧米ではミサ曲とかヘンデルの「メサイア」ではないでしょうか。学徒出陣の壮行会音楽だったとか、オーケストラと歌手たちのボーナスのためだとか言われていますが、そのボーナスにしたってお客さんが来てくれないことには払いようもありません。しかしご心配なく、12月に入っての日本は「第九」の洪水ですが、どこの会場もお客さんは一杯です。日頃はお客さん集めるのに四苦八苦しているのにもかかわらずです。

コンサートホールに足を運ぶクラシック・ファンはそう多くはなさそうなのに、なぜ第九ファンはこんなに多いのでしょうか。四楽章の解放感がたまらない、あの「歓喜の歌」のメロディが大好きなんだ、と言う人が多いと思うし、それはそれでいいことで反対はしません。しかし私は深層心理としては違う要素があると思います。それは3大Bを頂点とするドイツクラシックを信仰の対照にまでしてしまった、日本の学校音楽教育にあると思います。私は第九ファンはけっこう生真面目で、先生の言うことを素直に信じこんだ人たちだと思います。つまりクラシック鑑賞の時間のトラウマがどこかにあり、一年間クラシックを聴かなかったことに対する贖罪意識があるのではないのでしょうか。クラシックの最高峰「第九」を鑑賞する自分はマンザラでもない、ですね。

ところで「歓喜の歌」の作詞者はフリードリッヒ・シラーですが、このドイツ魂を鼓舞する内容はその後ワグナーを経て、ヒットラーのナチスに悪用されます。ナチス的には「友よ」の「友」は「アーリア人」以外の何者でもありません。もちろん、シラーにしても、ベートーヴェンにしても「友」はドイツ人

でした。「人類みな兄弟」の中にはイタリア人は入っていません。第九は反ロッシニ、反イタリアだったのです。1年に1回第九を謳歌するのはけっこうですが、ナチズムに悪用された歴史があったことを知ってもらいたいものです。

***長い曲がいいわけじゃない・・・ツマミ喰いのすすめ**

私の友だちで何人かヴァイオリンの先生をしている人がいますが、話していてへえーっと思うのは、最近は昔のように短い小品は教えなくなっているそうです。だれもがソリストになるわけじゃなし、コンクール向けのような曲ばかりやるのはなんだかなあ、と思わざるを得ません。日本のクラシックファンが音楽を聴くとき、やはり重厚長大な曲を選びがちです。恐らくクラシックを知らない人への優越感、つまりこんな長い曲だって聴きこなせるんだぞ、という気分かも知れませんが、私は別に長い曲が偉いなんてひとつも思えません。極端なことを言いますが、ブルックナーが長ったらしいのは本人の鈍重さゆえ、マーラーの場合はとてもいいフレーズなのに、次のフレーズへの無理矢理の引き伸ばしが目立ちます。一時間以上もある曲をまんじりともせず、頭から終わりまで聴いたら、何かが分かるんでしょうか。そういう人たちは必ず全体を通してのメッセージ性をさがそうとします。私はそもそもそういう聴き方がおかしいと思います。前にも書きましたが、作曲家自身が起承転結をきちんと考え、順番に書いていくわけじゃないことがとても多いのです。そしてソナタ形式の展開部の所でも書きましたが、作曲家は、モチベーションもなく、技術だけで長くすることは、それほど難しくありません。そんな箇所を顔をしかめて難しく聴くのはまんまと作曲家の術中にはまっているわけです。

漫画の「めだかのカンタービレ」が大ブレイクしましたが、ある評論家は、全体を聴かずにある楽章だけをテーマにするとは何事だ、すべて聴かなければ曲の良し悪しは分からないのに、長い曲をこま切れにするのはけしからん、と相当怒っていらっしやいましたが、本当にそうでしょうか。そうだとすると、NHKの「名曲アルバム」なんて番組は最低の俗悪番組だということになってしまいます。ましてやガラ・コンサートで歌われるオペラのアリアなんて、みんなツマミ喰いじゃないですか。

しかし、こんな場合もあります。ヴァイオリン・ピースとして有名な「タイスの瞑想曲」です。この曲は世界中殆んどの人が、静かに静かに天国的な演奏をします。しかし本当にそれでいいんでしょうか。この曲はマスネーの作曲した「タイス」というオペラの間奏曲として演奏されるのですが、一体、どういうシチュエーションだか御存知でしょうか。このオペラの舞台は昔のアレクサンドリア。その街中の男を色香で迷わす娼婦タイスが主人公で、若き修道師アタナエルはタイスを改心させて街を救おうとします。そしてタイスに近づき、タイスに激しく改心を迫り、タイスを一人っきりにした時に流れる間奏曲で、この曲は二人の激しい肉欲の葛藤を描写しています。静かに瞑想しようとしてもムラムラと沸き起こる肉体のうずきにむせぶ曲なのです。そう知れば、静かに静かに天的に奏くのは変だと思いませんか。確かに原曲のまん中辺はかなり激しくゆれ動く心のサマを表すようなフレーズがあります。まあ、タイスが娼婦だということを知らないでも演奏はできますが。

この「タイス」のように現在でも上演されるオペラなればこそ、曲のシチュエーションは分かりますが、もう上演されることのないオペラ、例えばヘンデ

ルの「オン・ブラ・マイフ」、トマの「君よ知るや南の国」、そしてゴダールの「ジョスランの子守唄」になると、私もストーリーは全く知りません。こういう曲は、オペラ全体の中の1曲というより、単独の歌として親しまれています。でも本来、これは堂々の「ツマミ喰い」なのです。

お芝居の作り方として、最初の30分くらいは遅れてくる人の為に全体とは無関係な部分を作っておくという約束事があるそうです。そういえば昔のオペラの序曲は観客への、いわゆる「ガヤ鎮め」でした。そういう風に聴いて下さい、というわけではないのですが、あまり肩肘張って堅苦しく聴いていると、疲れると思うのですが如何でしょうか。

*作曲家の仕事の仕方

シューマンが若い時に書いた有名な本「音楽と音楽家」の中に、作曲家は自身が仕事をしている所を人に見せないようにした方がいい。なぜならガッカリさせるからだ、というようなことを書いた下りがあった記憶があります。私は常々よく言ったり書いたりしていることに、作曲家というものは白いグランドピアノに向かってポーンと和音を鳴らし考えこんでからやおら五線譜を埋めて行く、などと言うことはあり得ない、ということがあります。中にはピアノで音を確認めないと不安だという人もいるかも知れませんが、殆んどの方は作曲する時にピアノを使ったりしません。

私はピアノを弾けませんので自分の曲をピアノで弾くことはできません。それ所か、ピアノがあると必ず遊び弾きしてしまうので仕事にはなりません。第一、ピアノ曲ならともかく、オーケストラの曲をピアノで確かめるなんてナンセンスです。オーケストラは普通、木管楽器として、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴットとそれぞれ音色が違い、金管楽器もホルン、トランペット、トロンボーン、チューバとあり、打楽器は好きなだけ、あとハープと弦楽5部です。オーケストラ曲の場合、頭の中でこのすべての楽器を鳴らして譜面にして行くわけです。そりゃ凄いななんて思わないで下さい。大雑把に言えば珠算の暗算に似ているといえるでしょう。私は最近、邦楽器の作曲が多いのですが、これぞピアノではどうにもなりません。私はよく臨海埋立地にある大江戸温泉物語の奥の座敷の間で、作曲します。特に邦楽器には気分が合う環境です。

作曲家はみんなピアノが弾けると思うのも大間違いで、チャイコフスキーのピアノ曲は不恰好だし、ルビンシュタインにピアノパートがないと言われてピアノ協奏曲を突っ返されています。チャイコフスキーどころじゃないのはベルリオーズです。ピアノ曲は全くありませんし、ローマ賞用のオーケストラ曲を作曲するために、人のいない海辺で五線譜を書いていて、警察に捕まっています。警察いわく、ピアノなしで作曲できるわけがない、その五線譜に書いているのはスパイ用の暗号だろう、というわけです。

前にも書きましたが、交響曲とか協奏曲とかソナタ等の場合、一楽章から順番に書いていくとは限りません。また4楽章書くつもりだったのに3楽章でやめちゃった、とか、一楽章だけでやめちゃった(多分、シベリウスのNo7)という場合もあるのです。だから全体を通じてのメッセージ性といわれても、そうかなあと思ってしまうのです。

もうひとつ重要なことを書きましょう。それは曲のタイトルです。ベートー

ヴェンの「運命」なんて、かくして運命は扉を叩いたなんていわれていますが、ベートーヴェンはそんなこと一言も言っておらず、別の人がつけたタイトルです。ベートーヴェンが自分でタイトルをつけたのは「英雄」と「田園」でしょう。しかし、何のタイトルもなしにただの交響曲×番と言われても印象がうすいですね。ミヤスコフスキーは素晴らしい交響曲を27曲も書きましたが、どれひとつとしてサブタイトルがなく、番号だけなんで、人の記憶に残りにくいのです。60曲を超える交響曲を書いたホヴァネスの一番有名なのは「神秘の山、ミステリー・マウンテン」というサブタイトルのついた曲です。私が学生時代、よくアルバイトしたABC交響楽団の売り物コンサートは「運命」「未完成」「悲愴」「新世界」のどれかを組み合わせる3大交響曲の夕べでした。こういう括りで入ると「未完成」までがいわく因縁ありそうな雰囲気が出てくるから不思議です。

曲のタイトルは先にあるのか、後からつけるのか、これも大変微妙な問題です。魚釣りがすごく好きなM氏のアルバムの曲名はすべて後から魚の名前をつけています。また、ジャズピアニストで作曲家のある人は、曲を書き終わってからえーい、と百科事典を開き、目についたもっともらしい言葉をつけるといいます。曲のタイトルどころか作詞でさえ後からというのがポップス系です。昔は歌を作るというのは、まず詩があって、それに作曲したのですが、最近では殆んどメロ先といってメロディが先にあり、あとから詩を乗つけてタイトルを決めます。私は曲も聞かせてもらっているので差し障りはないと思いますが、松任谷由美の「あの日に帰りたい」の原曲を聴いたことがあります。それはTBSのドラマのテーマにする為に発注された歌だったのですが、プロデューサーが気に入らずお蔵になってしまったのです。私はそのテープを聞かせてもらったところ、メロディ、コード進行、ボサノバ的雰囲気すべてが後の「あの日帰りたい」なのですが、詩が全く違うのです。

また、私の場合、日本の三味線界、トップリーダーの西潟昭子さんからよく委嘱を受けるのですが、曲ができあがっても、タイトルでいつも揉めるのです。私は「三味線とお箏のための二重奏曲」でいいじゃないか、と言っても「いい曲名付けなきゃダメ」と言ってゆるしてくれないのです。作曲するよりもタイトルを付ける方が難しくて困ります。

この項の最後におきますが、日本の現代作曲家の作品がえてして面白くないのは、曲を書くモチベーションが分かりにくく、誰を対照に書いているのか分からない場合が多いのです。芸大の作曲科卒業の人の場合、半分以上は一般聴衆のために書いてはいません。演奏者のために書く人も多くはありません。じゃ、誰のために、どんな対照に対して書いているんでしょうか。殆んどのは仲間内に笑われないように、先生から、よく書いた、と言われたいため、弟子のいる人は手本を示すため、というのがモチベーションで一般大衆は置き去りにされているのです。これでは面白くないのは当然です。

CD レビュー 純正茶寮
笹久保伸『ヴィーナス・ペンギン』
純正律音楽研究会理事 黒木朋興



笹久保伸
『ヴィーナス・ペンギン』
EAN : 4525937002775
メーカー : CHICHIBU LABEL

秩父在住の笹久保さんは精力的なアーティストである。音楽だけではなく、映画を撮ったり写真集を出したりなど様々な活動を展開している。音楽だけをとっても、毎年毎年次から次へとアルバムを発表なさっており、こちらが購入するより彼が出すペースのほうが早いという、なんだかフランク・ザッパを彷彿とさせる運動量である。

笹久保さんはギターなので、純正律音楽というわけではない。ただ、彼の最近の作品は楽器の音だけではなく周囲の色々な音を取り込もうとしようとしているところがあって、平均律の音の濁りはほとんど気にならない仕上がりになっている。特に、アントニオ・ロウレイロが入った2曲目やフレデリコ・エリオドロの入った3曲目など、ヴォーカルが入った楽曲は独特の魅力がある。単に、私の好みかもしれないが。

また、彼の活動の中心には秩父の武甲山をセメントの鉱山として破壊するのをやめて欲しい、という環境問題に密接に関わっており、その点でも純正律音楽の諸活動と通底しているものと言える。

第33作目となるアルバム『Venus Penguin』は、笹久保伸のシスモグラフィ的な作品。

共演者としてフランスの伝説的ギタリスト Noël Akchoté(ノエル・アクショテ)、ミナス新世代と言われるブラジルの Antonio Loureiro(アントニオ・ロウレイロ)

シンガーソングライター/マルチ奏者、Frederico Heliodoro(フレデリコ・エリオドロ)ベーシスト/作曲家/シンガー、ルイス・コールやサム・ゲンデルらと新しい音楽カルチャーを作っているアメリカのギタリスト Adam Ratner(アダム・ラトナー)をフューチャリング。2021年リリースの『CHICHIBU』やサム・ゲンデル、ノエル・アクショテとのアルバム共作を経て辿り着いた笹久保伸 2022年の音楽作品。

ソングリスト

- 1.DUO 2021 (feat. Noël Akchoté)
- 2.Waltz for Canaria (feat. Antonio Loureiro)
- 3.Chrysanthemum (feat. Frederico Heliodoro)
- 4.Ocho Valles (feat. Adam Ratner)
- 5.Venus Penguin

パイプオルガンについて

NP0 法人 純正律音楽研究会
正会員 弁護士 齋藤昌男

目次

- 第1、 緒論
- 第2、 リードオルガン(足踏み式オルガン)
- 第3、 オルガンの歴史
- 第4、 オルガンの仕組み
- 第5、 日本にあるパイプオルガン
- 第6、 参考文献

記

第1、 社外取締役を務める Y 社の講堂に、パイプオルガンが、設置されることになりました。完成予定は 2025 年 3 月です。パイプオルガンの仕様は、次の通りです。

1. サイズ：幅 9m40cm×奥行 4m80cm×高さ 10m50cm (本体)
2. 仕様：3 段鍵盤とペダル 50 ストップ (50 種の音色)

パイプ数 2,964 本 ふいご 8 基

内訳

第1 鍵盤：ハウプトヴェルグ(HW) 54 鍵 14 ストップ

第2 鍵盤：オーバーヴェルグ(OW) 54 鍵 14 ストップ

第3 鍵盤：ブレストヴェルグ(BW) 54 鍵 14 ストップ

ペダル(P)

特徴

バッハ(1685 年～1750 年)が、最も親しんだ様式と言われるヨーロッパの伝統に深く根ざした 18 世紀中期ドイツ様式で、礼拝からオルガンコンサートまで幅広い演奏に対応できる仕様になっています。

第 2. リードオルガン(足踏み式オルガン)

管楽器やオルガンのリード管に装置する薄片状の発音体をリードと言います。金属・葦片・竹片で製し、吹いたり弾いたりすれば、振動して音を発し、また音管内の空気を振動させます。金属製のリードを持ち、ペダルでふいごから空気を送って発声するオルガンをリードオルガンと言います。19 世紀に開発が進み、日本には明治時代に伝えられました。日本では、オルガンと言え、このリードオルガンを指しますが、欧米では違います。以下オルガンと言え、全てパイプオルガンを指すとして、話を進めます。

第 3. オルガンの歴史

1. オルガンの期限は非常に古く、紀元前数世紀からオルガンの原型に当たる楽器の存在が認められます。ギリシャ神話の牧羊神パンが手にする「パンの笛」や「シリンクス」(パンフルートとも呼ばれる葦笛)などのように、複数の笛を束ねて吹くもので、中国や日本などの「笙」も同族の楽器と見做されています。

2. 水オルガン

紀元前 264 年にアレキサンドリアに住んでいた人が、水力によって空気を送り込み、手で弁を開閉させることによって音を出す楽器「水オルガン」を製作したことが、記録に残っています。水オルガンは、青銅と木で出来ており、大理石でできた円筒状の基礎に乗っていました。大理石の中には、貯水槽とピストンが備え付けてあり、圧縮空気を上部のパイプに送り出しました。その後改良され、地中海地方に水オルガンは、普及しました。

3. ふいごによるオルガン

紀元前 1 世紀初め、ふいごによるオルガンが出現しました。

4. 中世

9 世紀に、ヨーロッパでオルガン製作が始まりました。13 世紀には教会の楽器として確立されました。

5. ルネサンス

現在のほぼすべてのオルガンに採用されている「スライダー・チェスト」が発明されたのはこの時代で、スライダーを用いてストップを選択するという方式が定着していきました。オルガンが日本に伝来したのはこの時代で、1581 年に高山右近統治下の高槻の教会に設置されたオルガンが日本で最初とされます。

6. バロック

17 世紀すら 18 世紀前半のバロック時代はオルガン文化の全盛期にあたります。特に北ドイツでは、新教が大オルガンを建造することを競い始める様になり、巨大化が加速されました。

第 4. オルガンの仕組み

1. オルガンは、ふいご(送風装置)と鍵盤の操作でパイプを鳴らす楽器で

す。そしてこの3つは、風箱によって結びつけられています。

2. パイプ

オルガンの音色は、パイプの発音方式、形状、太さ、素材などにより、多くの種類に分かれます。パイプの主な素材は、鉛・錫・銅などの金属や木材です。「音」は、物体の振動によって生まれます。オルガンのパイプは、次の2つに別れます

- (1) フルーパイプ：リコーダーやフルートのように、歌口を空気の流れて発生する管内の空気柱の振動で発音する。
- (2) リードパイプ：薄い金属板(リード)の振動で発音する。
- (3) 管楽器では、1本の管で音の高さを変えますが、パイプオルガンでは、鍵盤の各音に、1本のパイプを使います。1つの音色のパイプは、鍵盤の最低音から最高音までの数が置かれます。最低音から最高音までのパイプのまとまり、つまり同じ音色の1列のパイプ群をストップと言います。例えば54鍵に3種の音色をもつパイプオルガンのパイプの総数は162本となります。正ストップによっては、1音に複数のパイプがおかれるものや、中音域から高音域にかけてパイプがおかれるものもありますので、ストップ数が同じでもパイプオルガンのスタイルや規範によってパイプの総数は異なります。

3. 送風装置(ふいご)

パイプが美しく鳴るためには、良質で安定した風が不可欠です。ふいごで生まれた風は、送風管(ダクト)を通して風箱に送られます。

4. アクション

パイプオルガンは、鍵の操作でパイプに風が流れて発音します。風の入り口を開閉する弁を鍵と結び付ける機構をアクションと呼びます。アクションには、個々の鍵と風の通り道にある弁を開閉するためのキーアクションと、各ストップに風を一括して送り、また止めるためのストップアクションがあります。

5. 風箱

風箱は、パイプ、送風装置(ふいご)、鍵の働きをまとめる重要な装置であります。

6. ストップ(レジスター)

音色を選ぶ、つまりパイプへ風を流し、また止める機構をストップ(止める)またはレジスター(登録するもの)と言います。ストップは、演奏台の鍵盤の両脇ないし片脇、または譜面台下に配置されたノブやレバーで操作されます。

7. レジストレーション

ストップを選んで登録する、即ち音色を組み合わせで鳴るようにする操作をすることをレジストレーションと言います。中規模以上のパイプオルガンではコンピューターを装備し、電子の助けでストップの組み合わせをします。

第5. 日本にあるパイプオルガン

1. オルガンの芸術(第2版)の329ページには、次の記述があります。
「日本全国で1970年から2015年の間に、キリスト教会に約500台(多

くが小型)、学校関係で約 130 台(多くが中型)、音楽ホールに 45 台(多くが大型)、その他に、これら以外の諸施設に数十台のオルガンが設置された。」

2. 日本の代表的なパイプオルガン(2024 年 6 月 9 日の日本経済新聞を引用する)
 - (1) 横浜みなとみらいホールのパイプオルガン「ルーシー」。翼を広げたカモメを思わせるパイプの配置が港町ヨコハマを象徴している(神奈川県横浜市)
 - (2) 東京カテドラル聖マリア大聖堂(東京都文京区)
 - (3) 武蔵野市民文化学館(東京都武蔵野市)
 - (4) 聖パウロ教会(東京都目黒区)
 - (5) 国際基督協大学、都内に、大型オルガンが少なかった時代、多くの海外演奏家が訪れた。(東京都三鷹市)
 - (6) 日本橋三越本店(東京都中央区日本橋)
 - (7) 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂(東京都台東区)

第 6. 参考文献

1. 株式会社道和書院発行「オルガンの芸術(第 2 版)-歴史・楽器・奏法」
2. 株式会社春秋社発行、椎名雄一郎著、「パイプオルガン入門：見て聴いて触って楽しむガイド」
3. Wikipedia
4. 日本経済新聞

2024 年 7 月 26 日脱稿



おたより募集！

会報のご感想、ご意見、純正律音楽にまつわること等々、なんでもお寄せ下さい。たくさんのお便りを、お待ちしております。

次号の【ひびきジャーナル】にてご紹介させて頂きたいと思っております。

〒168-0072

東京都新宿区百人町 4-4-16-1218 NPO 法人 純正律音楽研究会

お電話：03-5389-8449 FAX：03-5389-8449

e-mail：puremusic0804@yahoo.co.jp <http://just-int.com/>

2024 年 8 月 20 日 発行責任者：NPO 法人 純正律音楽研究会

編集：相坂政夫

*純正律音楽研究会 YouTube チャンネルを開設しました。

コンサートや CD 紹介の映像が当会ホームページからご覧いただけます。

<http://just-int.com/>